

大会次第

- 一 国歌斉唱
- 一 開会の辞
- 一 優勝杯返還
- 一 競吟上の注意
- 一 競吟詠
- 一 大会委員長挨拶
- 一 大会会長挨拶
- 一 審査講評
- 一 審査結果発表
- 一 表彰式
- 一 開会の辞
- 一 万歳三唱

[illegible]

大会 参 与	大会 会 計	大会 会 計 長	審 查 事 務 長	〃	〃	〃	〃	大会 事 務 局 員	大会 事 務 局 次 長	大会 事 務 局 長	大会 事 務 統 括	〃	〃	〃	〃	大会 總 務
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
加 盟 会	会 計 委 員	会 計 部 長	事 務 局 次 長	〃	〃	〃	〃	事 務 局 員	事 務 局 次 長	事 務 局 長	事 務 局 顧 問	〃	〃	〃	〃	支 部 長
各 会 会 長	杉 原 馨 仁	山 田 皓 山	中 島 翔 竜	甲 斐 鶴 泉	藤 岡 翠 優	寺 本 龍 山	土 屋 賀 美 暎	保 井 爽 山	中 島 翔 竜	浮 津 虔 山	正 木 鵬 山	松 井 閣 峰	島 田 鐘 峰	森 島 麗 桜	胡 中 翠 陽	平 賀 輝 山

前半審查委員		(順不同・敬称略)	
審查委員長	楠部	齋山	
審查副委員長	木戸	一声	
審查委員	南條	豁鵬	
〃	森岡	盟山	
〃	松井	閣峰	
〃	正木	鵬山	
〃	山口月	翠城	
〃	矢立	鳳山	
調和審査委員	藤岡	鴻琳	
〃	吉川	滄汎	
発音審査委員	倉本月	華城	
〃	増田	斑山	
詩文監査委員	大下	馨風	
〃	白井	翠画	
音響監査	小林	翠山	
〃	稲田	鶴萌	

後半審查委員	(順不同敬称略)	審查委員長	山本 賀陽
審查副委員長		下原 龍劍	
審查委員		向山 滄洲	
		中本 龍風	
		岸田 天洲	
		石本 琢山	
		大石 月延城	
		夏野 緑声	
調和審查委員		梶田 鷹巖	
		胡中 翠陽	
発音審查委員		吉田 鴛山	
		平賀 輝山	
詩文監查委員		森島 麗桜	
		杜下 勝峰	
音響監査		島原 樹山	
		多里 光曉	

大会運営役員	
審査事務	◎寺本 龍山 ○島村 弘山 竹森 彪華 後川 旭桜 佐藤 芦静
集票	水ノ上碧心 福森 憲香 田島 紫清 ● 持田 暁峰 中島 翠桜 貝原 扇心
受付	◎上田 睦鵬 ● ◎麻生 翠静 岩原 玲桜 ● 尊心 枝廣 鈴静 佐藤 珠桜 濱田 祥鵬
司会	◎高尾 静映 ○宮 三上 美清 望洲 ● 伊藤 静正
進行	◎青木 剣心 ○杉原 敬子 ● 三好 和竜 岡田 陽静 福永みどり
音響	◎藤井 隆洲 ● ◎杉野 城竜 ● 永出 紳鵬
会場・舞台	◎小林 賀泉 ● ◎藤井 徳毛 玲紫 山内 直美 ●
記録	◎内海 眺峰 ○村上 葛泉 ● 誠堂 森 静耕峰 ●
記接待・昼食	◎高尾 静鋒 ● ◎渡邊 純鵬 ● 金島 華桜
賞典	◎小林 華静 ○竹野 康山 ● 藤本いづみ 森谷 道峰 今川 悦桜
計時	◎坂本 虎峰 ○中野 俊山 坂本 素洲 ●

〔註〕  
◎係委員長 ○係副委員長 ●出場者

23	番号	22	21	20	19	18	17	16	15	番号	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	番号	4	3	2	1	番号									
敷島	短歌の部 13名	絶句	辞世	春夜洛城に笛を聞く	絶句	舟中子規を聞く	舟中子規を聞く	絶句	涼州詞	青年の部 8名	九月十日	早に白帝城を発す	九月十日	山行同志に示す	菊の花	江南の春	九月十日	江南の春	早に白帝城を発す	富士山	少年の部 10名	富士山	富士山	九月十日	九月十日	幼年の部 4名									
常盤美恵子	氏名	西山穂菜美	豊田隼人	平岡朋子	西黒麻湖	澁田知佳依	砂川由衣	西山優花	平岡大輝	氏名	原万理恵	前田紗那	縄手美月	黒田蓮翔	有田美優	小藤侑梨乃	原彩佳理	原佳奈	池内柑太	長谷川茉莉玲	氏名	井川駿	原田峻輔	後藤花音	竹本幸輝	氏名									
	本数	⑧	①	⑧	⑦	⑧	⑧	⑧	③	本数	⑨	⑨	⑥	水①	⑨	⑧	⑨	⑦	⑦	⑧	本数	⑨	⑨	⑨	⑨	本数									
持参	C/D	2	9	8	2	7	3	2	5	C/D	5	2	8	1	3	1	5	続12	2	5	C/D	4	1	1	1	C/D									
53	52	51	50	49	48	47	番号	46	45	44	43	42	41	40	39	38	37	36	番号	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24				
絶句	常盤孤を抱くの図に題す	舟中子規を聞く	春夜洛城に笛を聞く	江楼にて感を書す	辞世	九段の桜	一般二部 35名	涼州詞	胡隠君を尋ぬ	九段の桜	舟中子規を聞く	春夜洛城に笛を聞く	九段の桜	常盤孤を抱くの図に題す	舟中子規を聞く	春夜洛城に笛を聞く	春夜洛城に笛を聞く	常盤孤を抱くの図に題す	一般一部 11名	ふるさとの	ひさかたの	白鳥	幾山	白鳥	敷島	平らぎ	白鳥	いにしえ	敷島	ひさかた	白鳥				
柘植晃子	羽村敏幸	岩原玲子	金藤朋子	山根玲子	黒川洋三	石原章子	氏名	中野康子	山田美和	蟬谷香織	木本文子	楠部倫子	平岡精二	山内直美	北川由紀	小藤千枝	井上雅子	塚村慶子	氏名	友宗一己	岩田久子	河村シゲ子	高橋雄子	安部富美子	安部達雄	山口智子	木本文子	山本生男	榎田早苗	吉本綾	山内直美				
⑧	②	⑥	⑥	⑦	②	⑥	本数	⑦	⑦	⑧	⑦	⑧	③	⑧	⑨	⑧	⑦	⑧	本数																
3	続16	3	8	5	10	10	C/D	8	2	8	7	7	10	8	3	7	7	11	C/D		持参	持参	持参	持参	持参	持参	持参	持参	持参	持参	持参	持参			
88	87	86	85	84	83	82	番号	81	80	79	78	77	76	75	74	73	72	71	70	69	68	67	66	65	64	63	62	61	60	59	58	57	56	55	54
辞世	涼州詞	胡隠君を尋ぬ	絶句	九段の桜	舟中子規を聞く	江楼にて感を書す	一般三部 69名	絶句	胡隠君を尋ぬ	絶句	辞世	九段の桜	辞世	舟中子規を聞く	常盤孤を抱くの図に題す	舟中子規を聞く	舟中子規を聞く	涼州詞	舟中子規を聞く	常盤孤を抱くの図に題す	常盤孤を抱くの図に題す	舟中子規を聞く	胡隠君を尋ぬ	涼州詞	江楼にて感を書す	春夜洛城に笛を聞く	春夜洛城に笛を聞く	九段の桜	春夜洛城に笛を聞く	春夜洛城に笛を聞く	九段の桜	涼州詞	常盤孤を抱くの図に題す	舟中子規を聞く	
不破元弘	宇都宮千春	田部一恵	大岩孝子	柏原太久男	松本徳彦	田島清子	氏名	西山美由紀	松本貴子	木村眞美	小川玲子	河村シゲ子	尾方公一	藤井まゆみ	雛田末美	吉本信江	鈴木賢太郎	横手克尚	木戸頌子	空谷直己	出本洋子	蘭田弘美	岡田勝子	二井谷健	平賀玲子	三力谷好子	頼政昌子	森戸尉雅	土屋嘉美	有田貴代	辻明恵	上野真佐江	森ひとみ	有田紀子	新宅久子
③	③	⑥	⑦	②	②	⑦	本数	⑧	⑦	⑧	⑤	⑦	②	⑦	③	⑦	③	③	⑧	①	⑧	⑧	⑦	④	④	⑦	⑦	水①	⑧	⑥	⑦	⑦	⑦	⑦	⑤
10	6	2	7	続5	2	7	C/D	2	7	5	10	9	9	2	10	2	2	続12	続12	10	続15	7	6	続12	7	7	7	9	6	7	10	9	5	8	2

令和五年度  
全国吟詠コンクール  
広島県予選大会

令和五年度

公益財団法人

日本吟剣詩舞振興会

日時 令和五年五月二十八日（日）  
場所 福山市神辺文化会館ホール

開会 九時三〇分（開場九時）  
福山市神辺町川北一一五五一  
電話（〇八四）九六三―七三〇〇

主催 公益財団公認 広島県吟剣詩舞道総連盟  
後援（公財）日本吟剣詩舞振興会中国地区連絡協議会

◎ 注 意 事 項

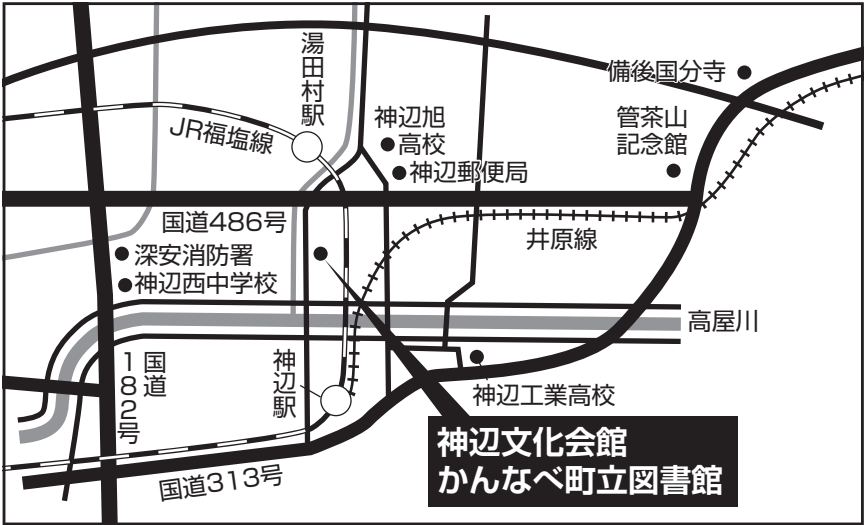
1. 吟題は指定吟題とする。
2. 吟題の変更並びに出吟順番の入替は行わない。
3. 各自の出吟番に間に合わなかった時は失格とする。  
但し、本人の希望があれば終了後無審査で出吟出来る。
4. 伴奏曲が本人申告と違った場合は前奏の間に申出のこと。

入 賞 者

幼 年 の 部	一 般 一 部	入賞
優勝	優勝	〃
2位	2位	〃
	3位	〃
	入賞	〃
		〃
少 年 の 部		〃
優勝	一 般 二 部	〃
2位	優勝	〃
3位	2位	〃
	3位	〃
	入賞	〃
青 年 の 部	〃	〃
優勝	〃	〃
2位	〃	〃
3位	〃	〃
	〃	〃
	〃	〃
短 歌 の 部	〃	
優勝		一 般 四 部
2位		優勝
3位		2位
入賞	一 般 三 部	3位
	優勝	入賞
	2位	〃
	3位	〃

福山市神辺文化会館ホール

- JR福山駅から タクシー 20分  
JR福塩線 神辺駅下車 タクシー5分／徒歩20分
- JR福塩線 湯田村駅下車 徒歩15分
- 山陽自動車 福山東インターから15分



126	125	124	123	122	121	120	119	118	117	116	115	114	113	112	111	110	109	108	107	106	105	104	103	102	101	100	99	98	97	96	95	94	93	92	91	90	89	
涼州詞	胡隱君を尋ぬ	絶命の詞	絶句	常盤孤を抱くの図に題す	九段の桜	九段の桜	舟中子規を聞く	涼州詞	九段の桜	九段の桜	絶句	涼州詞	胡隱君を尋ぬ	舟中子規を聞く	常盤孤を抱くの図に題す	常盤孤を抱くの図に題す	常盤孤を抱くの図に題す	九段の桜	九段の桜	辞世詞	涼州詞	舟中子規を聞く	舟中子規を聞く	舟中子規を聞く	常盤孤を抱くの図に題す	辞世詞	涼州詞	絶句	胡隱君を尋ぬ	胡隱君を尋ぬ	九段の桜	涼州詞	春夜洛城に笛を聞く	春夜洛城に笛を聞く	春夜洛城に笛を聞く	九段の桜	九段の桜	
藤川美枝子	西恵子	横田敏則	秋山悦子	原田ヤスエ	村上昌徳	幸島弥生	角田志津子	中土井生司	箕田和之	松尾博視	中田廣美	中川安	下西美保子	重谷美恵子	中野澄子	石原純子	高尾智	宮本積	出口ナラ子	常盤美恵子	日高由美子	胡中重俊	竹林健二	高尾千恵子	平本多恵子	田中実穂	近藤久美子	山田整治	平田千恵子	上田寿人	高橋雄子	野間幸枝	山本生男	楠部有希子	亀崎キクミ	中村恭子	作田和人	
⑦	⑦	③	⑦	⑥	②	⑤	⑥	②	②	④	⑤	③	⑦	⑦	⑦	⑤	①	④	⑦	⑧	⑨	①	③	⑥	⑦	②	⑦	③	⑦	②	⑦	⑥	④	⑦	⑥	⑦	③	
8	続1	続16	1	10	17	9	2	5	10	9	続2	5	続3	3	続15	10	続17	9	9	9	3	続12	続13	2	10	10	7	続2	続2	3	続13	5	8	7	6	続15	9	
160	159	158	157	156	155	154	153	152	151	鶯 一般四部 18名				150	149	148	147	146	145	144	143	142	141	140	139	138	137	136	135	134	133	132	131	130	129	128	127	
舟中子規を聞く	舟中子規を聞く	胡隱君を尋ぬ	絶句	常盤孤を抱くの図に題す	涼州詞	九段の桜	江楼にて感を書す	絶句	絶句	氏名				坂本きよみ	片村弘子	福山政枝	杉原郁充	松藤千鶴子	小橋裕子	上田睦子	清田宏和	大内正直	藤井清隆	坂本忠士	丸中文字	貞綱八重子	後藤八重子	福江千津枝	金堀孝行	原田武典	糸曾愛子	岩田久子	広田豊子	舟中子規を聞く	舟中子規を聞く	舟中子規を聞く	胡隱君を尋ぬ	九段の桜
④	④	水①	⑤	⑥	③	④	⑦	⑥	③	本数 C D				⑦	⑥	⑦	④	⑥	⑦	⑥	③	水①	②	①	⑥	③	⑤	⑦	③	②	⑦	⑦	⑧	③	③	⑧		
5	2	2	1	続15	5	9	9	続2	5					10	5	8	2	5	6	続1	10	5	5	7	2	続15	7	続12	9	5	3	6	3	8	1	続2	続8	

令和五年度 全国吟詠コンクール指定吟題										【幼年の部・少年の部】										【青年の部・一般の部】									
令和五・六年度 県総連指定吟題										【短歌の部】																			
① 平らぎの ② 厳島に ③ ひさかたの ④ ふるさとの ⑤ 幾山河 ⑥ 白鳥は ⑦ こち吹かば ⑧ 天の原 ⑨ 古島の ⑩ 敷古島の										① 常盤孤を抱くの図に題す ② 舟中子規を聞く ③ 辞世 ④ 涼州詞 ⑤ 春夜洛城に笛を聞く ⑥ 胡隠君を尋ぬ ⑦ 絶命の詞 ⑧ 九段の桜 ⑨ 絶句（両箇の黄鸝） ⑩ 江楼にて感を書す										① 九月十日 ② 富士山 ③ 山行同志に示す ④ 桂林荘雜詠諸生に示す（その二） ⑤ 弘道館に梅花を賞す ⑥ 早に白帝城を発す ⑦ 菊花 ⑧ 江南の春 ⑨ 春夜 ⑩ 偶成									
菅原道真 石川丈山 草場佩川 広瀬淡窓 徳川景山 李太白 白居易 杜牧 蘇軾 朱熹										梁川星巖 城野静軒 吉田松陰 王之渙 李太白 蘇軾 黒沢忠三郎 本宮三香 杜甫 趙嘏										山本康夫 斎藤茂吉 紀友則 石川啄木 若山牧水 若山牧水 菅原道真 阿倍仲麻呂 伊勢大輔 本居宣長									